

「まさか」。あのカウツク少年は微笑んだ。「たごき」

4月からイングリッシュの工ルがスタートします。

【あらすじ】

中学2年生の秋山小夏が陽ノ森中学校に転校してきた。前の学校ではチカカルで3年生の応援団長に憧れていた。自分もなんかカッコイイ団長になりたくて、新しい中学では応援の門を叩く。タメタメな男子団長をまじめとどきどきする女子団長の活躍を描く学園ドラマ。

【鑑袖一触とは】

相手の手をたたく打ち負かしてしまつたとき、鑑の袖がわずかに触れる意味から、応援団などの団やエールの音には、鑑袖一触や叩きまき、一觸どの言葉が使われます。

来週から新小説 女子応援団長の奮闘描く



【キャラクター紹介】



■秋山小夏
8月生まれの中学2年生。父親の仕事の都合で、3年に1度引越している。前の学校の3年生の応援団長に憧れて、自分も応援団長を目指す。身長165センチで、同学年女子の中では背が高い。

■小山大樹
小夏と同じクラスで、隣の席。無難にラクして中学生生活を送りたい(そして推薦を取り付けてラクに高校に入りたい)がモットー。応援団に入った理由は、「放課後の憩いの場を求めて」。身長155センチなので、牛乳を愛飲している。

■佐藤翼

小夏たちの隣のクラスで、成績優秀。身長168センチで足がやたらと長い。よくよく見ればそれなりだが、雰囲気がおたくっぽいので非モテ。応援団に入った理由は「帰宅部では内申点をもらえないから」。

■鈴木海

翼と同じクラスでのんびり・おっとりタイプ。身長160センチ、やや太め。大樹や翼とは小学校からの友人。成績は低め安定。自信なさそうな口調で腕いことを言う。応援団に入った理由は「大樹と翼が入るって言うたから」。

【作者・永嶋恵美さん】 1964



1964年、福岡県生まれ、広島大学哲学系卒業。94年、「ZERO」で第4回ジヤンプ小説・ノンフィクション大賞受賞。永嶋恵美名義でサスペンス小説などを書く一方、映画巡り名義ではゲームノベリス、漫画原作などを手がける。「なぜ猫は旅をするのか?」(双葉文庫)「転落」(講談社文庫)「廃工場のティンカー・ベル」(講談社)など著書多数。

【イラスト・大槻朱留さん】 大分



県生まれ。2006年漫画家デビュー。「ケロロ筆筒」や「ワライグワイグワイ」のイラストなど大人気漫画、アニメのコミカライズを手がける。ケロロ筆筒アニメ「ワライグワイ」のコミカライズを手がける。ケロロ筆筒特別訓練☆大コウカイ星の秘密!!(角川書店)計3巻などの著書がある。

＜前回の答え＞



英語パズルにようせむ!

小学校の英語活動にも役立つ!

進研ゼミ 小学講座

職業クロスワードにチャレンジ!

職業のクロスワードパズルだよ。周りの職業の英語ができれば、パズルをうめよう。タテヨコの両方の向きがあるから注意してね。

hairdresser (美容師、理髪師) 1 p h

cook (コック) 3 c o

baker (パン屋さん) 5 h a b a k e r

farmer (農家主、農民) 7 f a r m e r

pilot (パイロット) 2 b a

teacher (先生) 4 t e a c h e r

dancer (ダンサー) 8 d a n c e r

reporter (リポーター、記者) r e p o r t e r

photographer (写真家) p h o t o g r a p h e r

★頭の体操★

チザン/ナイスナイス イラスト/シヨウノ相馬啓也 巻頭言葉 編集協力/進研ゼミ小学講座 内山典子

少年は微笑んだ。「たごき」... 「まさか」。あのカウツク少年は微笑んだ。「たごき」... 4月からイングリッシュの工ルがスタートします。... 中学2年生の秋山小夏が陽ノ森中学校に転校してきた。前の学校ではチカカルで3年生の応援団長に憧れていた。自分もなんかカッコイイ団長になりたくて、新しい中学では応援の門を叩く。タメタメな男子団長をまじめとどきどきする女子団長の活躍を描く学園ドラマ。